

竜王町における地域学校協働活動の取組

[取組状況] ■地域学校協働本部 ■地域未来塾 □放課後子ども教室 ■土曜日の教育支援

■目指す姿

本町では、公民館に地域学校協働本部の事務局を置くことで優れた技術を持つ地域の方の情報を把握することができ、公民館を拠点として、地域総ぐるみで学校(園)への支援体制を整えることをとおして地域や家庭の教育力向上をめざしている。

また、地域学校協働本部と学校運営協議会が連携を密にし、今までの地域から学校への一方向の「支援活動」から双方向の「連携・協働活動」になることを目指し、地域と学校がどのような子どもに育てて欲しいのか、育てるのか、その姿を共有し、それぞれの持ち味を活かして子どもたちの育ちを支援することや、まちづくりに資すること等、地域と学校がよい関係性を築くための取組をすすめている。

そして竜王キッズクラブでは、様々な体験を通じて、学校や学年の異なる子どもたちが地域の方々と交流を深め、何事にも挑戦し、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につけることを目指している。

■本年度の具体的活動

地域学校協働本部:毎月:地域学校協働活動推進員会議(定例会)の開催
年1回:地域学校協働本部だよりの発行
通年:学校園応援団(ボランティア)の募集

地 域 未 来 塾:土曜龍王塾(雲竜塾・昇竜塾)の開講

土曜日の教育支援:各クラブでの活動(原則土曜日開催)

共 通:公民館ホームページや各種広報等を活用した情報の発信



【 竜王いろはカルタによる
ふるさと学習 】

■本年度の成果

地域学校協働活動:学校園応援団の学習支援、行事支援によって教職員にゆとりができ、子どもたちの見取りがより確かになり指導の助けとなることはもちろん、働き方改革の一助となった。また、子どもたちが地域に出かけて、地元の人のお話を聞いたり歴史的な資源(人、もの等)に触れたり交流したりして地域をより理解し、地域の将来を担う子どもたちの愛郷心育成の一端を担った。更にクラブ活動を地域の方と学ぶ場とし、新たに12のクラブを立ち上げ、活動を通じて地域の方との交流を深めるとともに、子どもたちが将来の夢や目標を持つということや今後のキャリア形成に有効であった。

地 域 未 来 塾:地域住民が講師として協力し、学校と地域が連携・協働することにより、生徒の学習活動を支援するとともに、教師の働き方改革の一助にもなっている。

土曜日の教育支援:普段の学校生活では交流が難しい他校や異年齢の児童が、クラブ活動を通じて、共に学び様々な体験をすることで親交を深め、心身ともに成長をすることができた。

■課題と今後の連携・協働活動の推進に向けて

地域学校協働本部:学校の支援依頼に対しボランティアを派遣しているが、ボランティア自ら支援チームを組織し、支援できる体制の構築までは至っていない。リーダー人材の発掘と育成が必要である。また、ボランティア登録者数は年々増加しているが、支援内容により支援に協力できる人に偏りがある。学校支援依頼が届いてから派遣するまでの期間が短く、調整に苦慮している。

地 域 未 来 塾:当該取組の継続に向け、指導者としての地域人材の確保が課題である。

土曜日の教育支援:講師の高齢化により事業を継続するには、講師の発掘を継続することが必要。クラブ活動内容のマンネリ化が進んでいる。

■地域学校協働活動推進員の委嘱状況 地域学校協働活動推進員を4名委嘱。

■域内の公立学校園の学校運営協議会の導入状況および計画

町内の1こども園・2小学校・1中学校に学校運営協議会を設置済。

今後も地域学校協働本部と学校運営協議会が連携を密にし、支援活動を更に発展させ、コーディネート機能を充実しつつ、地域住民の協力を得ながら活動の幅をより広げ、継続的な地域学校協働活動を実施し、発展させていきたい。

併せて、双方向の活動についても充実を期す。